

県立松代病院の無床診療所化に係る住民説明会において認識した住民の不安や懸念等
(十日町市松代地域及び松之山地域、第1回：令和7年6月29日開催、第2回：9月28日開催)

【第1回】(当日及び7月11日までに提出されたもの)

主な不安や懸念等		県病院局の対応・考え方
【病院としての存続】		
1	住民の命を守るため、今までどおり県立病院として存続してほしい。	・入院機能を十日町病院へ移行する理由は、松代病院の課題である、「小規模組織としての限界」、「医療スタッフの確保」、「入院患者数の減少及び患者像の変化」に対応し、<u>地域に必要な医療を持続的に提供していくため</u>である。また、これらの状況から生じる医療需要と医療提供体制との乖離により収支の悪化が続いている。そのため、松代病院は、地域住民が持続可能な形で安心して医療を受けられるよう、地域の身近な医療を支える拠点に変更する必要がある。
2	新潟県立病院経営強化プランでは、松代病院は地域包括ケアを支える回復期病院としての役割を果たすとされていたにもかかわらず、1年程度で方針を変更したのはなぜか。	・新潟県立病院経営強化プラン作成時には、<u>新型コロナ禍の影響下にあったことなどから、これだけ厳しい医療を巡る状況の変化を予測できなかった。</u> ・令和6年4月以降、現下の厳しい経営状況を精査し、改革の方針を検討したところ、一部プランの内容との齟齬が生じるため、令和6年9月18日開催の県立病院経営委員会において、今後の改革の方向性に即してプランを見直していくことを決定した。
【県立運営の継続】		
3	赤字だからと言って、すぐに止めるということがないようにしてほしい。運営を十日町市に移譲することは有り得るのか。	・地域の身近な医療を支える拠点は今後も必要であり、診療所化により収支を改善させながら、赤字でもしっかりと運営する方針。<u>無床診療所化するが、県立で診療所を運営し、地域の医療を維持していきたい。</u>
【有床診療所としての存続】		
4	病院としての存続ができないのであれば、せめて有床診療所として残してほしい。	・有床診療所は、<u>人員・設備等の制約から、診療範囲が限られたものとなる。</u>また、夜間の患者対応が必要であるため、多数の看護師配置が必要となり、有床診療所化による収支改善効果は限定的である。(収支改善効果 無床診療所化：約2億円、有床診療所化：約5千万円)

	主な不安や懸念等	県病院局の対応・考え方
	【無床診療所化後の機能】	
5	《診療科》 ・診療所化した後の人員体制や、病院と診療所との機能の違いについて、具体的に示してほしい。	・入院機能は十日町病院に集約することになる。 ・現状の外来診療科、訪問診療・訪問看護はしっかりと維持する。 <u>地域の介護施設等との連携機能も残す。</u>
6	《訪問診療等》 ・十日町病院に機能を集約した場合、これまで行ってきた往診（訪問診療・訪問看護）等はどうなるのか。	・訪問診療・訪問看護については、現状の体制を維持する。
7	《救急体制・夜間休日対応》 ・休日のイベントや夜間等を踏まえると、十分な救急体制が必要である。 ・無床診療所となった後、休日や夜間はどのように対応するのか。	・小規模病院のため医療スタッフや設備等に限りがあるため、 <u>救急受入れには限界があり、現状でも約95%が十日町病院等に搬送されている</u> （令和6年度の救急車受入れ件数：松代病院113台、十日町2,241台）。 ・松代病院が対応している夜間・休日の相談や救急患者の受入れは十日町病院で対応する。
8	《検査》 ・無床診療所化した場合、現在松代病院で行っている検査体制はどうなるのか。	・放射線の一般撮影やCT検査、 <u>現在の外来で実施している血液検査等は基本的に継続</u> 。輸血検査など月に1～2件の検査は実施しない。
9	《介護との連携等》 ・松代病院は、地域の介護施設と良好な連携・協力関係を築いている。無床診療所化した場合、介護施設との関係はどうなるのか。	・地域の介護施設等との連携・協力や在宅需要の増加にも対応できるよう、 <u>地域との窓口・連携機能は維持する。</u>
10	《オンライン診療》 ・オンライン診療のモデルケースを目指して、スマホやタブレットを使ったオンライン診療の取組を進めてほしい。	・松代病院では既に精神科外来でオンライン診療を実施しており、 <u>今後増加が見込まれる在宅医療の需要に対応するため、看護師が患者宅を訪問し、スマホやタブレットを使って病院・診療所にいる医師と自宅にいる患者をデジタルでつなぐオンライン診療の実施についても、検討を進めていく。</u>
	【機器の更新・建物の建替え】	
11	・医療機器が古いので、新しい機器へ更新するとともに、早期に建替を行い、建物老朽化を理由に撤退などしないでもらいたい。	・診療に必要な機器は順次更新していく。 <u>診療所として機能できるよう、建物等の維持・修繕を行う。</u> 建替え等は状況をみて検討する。

	主な不安や懸念等	県病院局の対応・考え方
	【交通アクセス】	
12	・年金生活で収入が少ない人が多く、タクシー利用が高額になることや、冬期を含めバス停までの徒歩が困難なため、病院までのアクセスを改善して欲しい。	・入院機能を十日町病院へ移行することに伴う交通手段の確保は重要な課題と考えている。 <u>降雪期を含めた交通確保について、十日町市等の関係機関と相談・協議していく。</u>
13	・夜間の救急搬送について、中山間地域の交通アクセスは、夕方までとなっており、夜間に自宅へ戻ることが困難。十日町病院内で夜間休憩できるようにしてほしい。	・ <u>時間帯により交通手段が確保できない場合には、医学的所見に加え、患者の社会的背景も踏まえ、病院内で一時的に待機していただけるよう対応する予定。</u>
	【丁寧な説明等】	
14	「無床化＝松代・松之山地域から全く医療がなくなる」と考えている住民もいるので、そうでないことを改めて丁寧に説明し、こうした誤解を解消する必要があると考える。	<u>外来や在宅医療を中心とした地域の身近な医療は診療所として残すことや、診療所の機能・体制などの具体的な内容について、様々な機会、手段で丁寧な説明、情報発信に努めていく。</u>

【第2回】（当日分のみ）

主な不安や懸念等		県病院局の対応・考え方
【病院としての存続】		
1	・令和6年3月に新潟県立病院経営強化プランを作ったのにもかかわらず、半年後に無床診療所化すると方針を変えたのはなぜか。 ・新潟県立病院経営強化プランには松代病院が県立病院でなければならない理由が記載されており、私たちが理想とする病院のあり方だと思っているので、松代病院を県立病院として残してほしい。	・令和6年4月以降、経営状況の精査を行い、改革の方針を検討したところ、一部プランの内容との齟齬が生じるため、同年9月18日開催の県立病院経営委員会において、今後の改革の方向性に即してプランを見直していくことを決定した。 ・その後、様々な検討を重ね、地域住民が持続可能な形で安心して医療を受けられるよう、<u>令和7年6月4日開催の県立病院経営委員会で無床診療所化の方針決定に至ったもの。</u> ・<u>入院機能を十日町病院へ移行する理由は、松代病院の課題である、「小規模組織としての限界」、「医療スタッフの確保」、「入院患者数の減少及び患者像の変化」に対応し、地域に必要な医療を持続的に提供していくため</u>である。また、これらの状況から<u>生じる医療需要と医療提供体制とのかい離により収支の悪化が続いている。</u>そのため、松代病院は、地域住民が持続可能な形で安心して医療を受けられるよう、地域の身近な医療を支える拠点に変更する必要がある。
2	・病院のことも患者のことも分かっている病院職員が反対している中、無床診療所とすべきではない。	・一部の職員からの反対の声はあるが、住民の皆さんだけではなく、<u>職員からも理解が得られるよう、丁寧に説明を尽くしていく。</u>
【新潟県立病院経営強化プラン変更理由の丁寧な説明】		
3	・新潟県立病院経営強化プランを作成後すぐに変更したが、変更しなくてはならないのであれば、理由について丁寧に説明すべき。	・新潟県立病院経営強化プランの変更理由や背景等（上記1等）については、<u>今後も様々な機会、手段で丁寧な説明、情報発信に努めていく。</u>
【無床診療所の機能】		
4	・松代病院の特徴である在宅医療（訪問診療、訪問介護）は、この地域からなくさないでほしい。	・<u>訪問診療、訪問看護はしっかりと維持するとともに</u>、将来の需要増加などにも対応し、デジタル等を活用した遠隔診療などの機能強化も検討していきたい。

	主な不安や懸念等	県病院局の対応・考え方
	【交通アクセス】	
5	・後期高齢者では収入も少なく、十日町病院受診に当たってのタクシー等の交通費負担が困難である。	・具合が悪くなった時に十日町病院に必ず行かなければならないものではなく、 <u>外来機能は現状を維持するため、具合が悪くなったら、まず松代診療所（仮）へ今までどおりに受診してもらいたい。</u>
	【夜間・休日対応】	
6	・蜂、マムシ、熊やイノシシによる怪我の場合、一刻も早く受診したいが十日町病院に行くまでの時間があるか心配である。松代病院をこのままの体制でぜひ続けてほしいし、救急も入院もなくさないでほしい。	・夜間、休日の救急対応が不安とのことだが、 <u>平日日中は今までどおり松代診療所（仮）で対応するが、現状でも約95%が十日町病院等に搬送されている（令和6年度の救急車受入れ件数：松代病院113台、十日町2,241台）。</u> 付き添いや十日町病院への通院となれば、ご不便をおかけすることになるが、ご理解いただきたい。
	【職員体制】	
7	松代診療所化後の体制が示されていないので、示すべき。	・ <u>9月28日の住民説明会ではお示しすることができなかったが、現在調整段階の案を早急にお示ししたい。</u> 時期、方法等については、十日町市と協議中。
	【「県立松代病院の入院機能の存続を求める要望書」に対する署名について】	
8	・署名が1万筆を超えており、住民の思いをしっかりと受け止めてほしい。	・ <u>地域住民の皆さんの思いとして受けとめさせていただく。</u>